

8-4-7 新しい生活様式の道路空間WG

1. 活動の目的

コロナ禍は、人とモノの動き、生活様式や社会経済構造を変革した。また、ニーズが多様化する道路空間の賑わい創出に向けて“ほこみち”等の施策が展開される背景より、新しい生活様式に相応しい道路空間創出と新しいモビリティの活用方策について、建設コンサルタントとして、「ひと」中心の「みち」づくりを実現するための提案を行うことを目的として、「新しい生活様式の道路空間WG」は活動した。

2. 主な活動の記録

令和3年6月より、道路空間の新しい使い方について様々な角度から検討を行っており、新しい道路空間活用に関するパンフレットの作成・公表、国土交通省道路局への提言、雑誌「交通工学」への寄稿等を行ってきた。そして今年度は「道路空間活用ガイドブック(以下、ガイドブックと略す)」を作成・公表するなど、“ほこみち”はじめ、新たな道路空間の活用方策に関する調査・研究、道路行政への提案、成果の会員への発信・普及を行うことなどを主な活動内容として、WG活動を実施した。

(1) ワーキングの開催(計9回の開催:Web併用)

- a) 先行取組団体(7団体)へのヒアリング結果のとりまとめ(4月23日、5月28日)
- b) ガイドブックの作成(6月27日、7月23日、8月26日、9月24日、10月23日、11月26日、12月25日)

令和4年12月に公表したパンフレットの構成をもとに、誰もが分かりやすいガイドブックを作成するため、仕様、目次、コンテンツ、最終構成等について検討・協議

(2) ガイドブックの公表

実際に道路空間を活用する地元団体等が、道路空間を利活用するまでの検討事項や手続き、地域の活性化に繋げるまでの流れをとりまとめたガイドブックを令和6年12月までに作成し、

令和7年1月に公表した。



図 「道路空間活用ガイドブック」の表紙

(3) ほこみちインスパイアフォーラム2024に参加

令和7年1月21日に開催された「ほこみちインスパイアフォーラム2024(ほこみちプロジェクト事務局、国土交通省道路局主催)」において、令和7年1月に公表したガイドブックを配布するとともに、WGの活動およびガイドブックの概要についてプレゼンテーションを行った。



写真 ほこみちインスパイアフォーラムの様子

3. 次年度の活動について

令和6年度までに作成したガイドブックを実際の道路空間活用主体が利用できるように、説明会や講習会の開催など普及に向けた活動を実施するために、引き続きWGにおいて議論する。

活動計画は次のとおりである。

- ・ワーキング: 毎月1回程度の開催予定
- ・チーム会議: WG開催の間に適宜開催
- ・ガイドブック更新に向けた関係者ヒアリング
- ・セミナー・報告会等の開催

(新しい生活様式の道路空間WGWG長

長田 拓也)